

シニア大学生4期生 キャンパスライフ報告

vol.4

「デジタルって面白い」

阿部さん、複合現実(MR)体験

スマートフォンなどの扱いに苦手を感じるシニア大学生の阿部聖子さん(66)は、生活の利便性や社会とのつながりを充実させるにはこうした機器の活用が大切と思い「シニアとデジタル」をテーマに研究を始めます。その一環で情報工学科・寺田裕樹准教授の協力でデジタル技術「複合現実(MR)」を体験。ゴーグル型の端末に映し出される立方体などの像を、自分の手でつかむような動きで直感的に操るシステムです。「デジタルは難しそうだけど、体験すると面白い。同世代にどう魅力を伝えられるかな」。研究の方向性が見えてきました。



◀ 複合現実(MR)を体験する阿部さん(右)と寺田准教授

「いつでも青春キャンパス®」は選考を経た65歳以上の県民が1年間勉強や研究に取り組める新プログラムです。
過去の取り組みはこちらから

